

研究計画書

ゼミ名	稲田ゼミ II	チーム名	世界の稲田
タイトル	関西経済とインバウンドについて		
テーマ群	b)財政・金融 e)産業・企業		
メンバー			
研究計画内容	<p>私たちはインバウンドが関西経済に与える影響について研究します。</p> <p>関西には京都・大阪をはじめ、様々な観光地があり、関西の「強み」である観光業で関西を支えるため、訪日外国人(インバウンド)による関西 GDP を増加させ、今後観光業はどのようにあるべきか提案します。</p> <p>訪日外客数統計、訪日外国人消費動向調査などを用い、訪日外国人の出身国ごとの、消費額、宿泊地、宿泊施設を分析します。人口が減少し始めており、GDP の伸び率向上に歯止めがかかっている関西において、訪日外国人による観光・宿泊などによる外国人消費動向が関西の GDP をどれくらい支えているのか研究していきたいと思えます。訪日外客数統計、訪日外国人消費動向調査などを用い、訪日外国人の出身国ごとの消費額を分析します。現在、関西国際空港におけるアジアからの訪日外国人の数は羽田空港・成田空港を抑え日本でトップを誇っています。この部分を見ても訪日外国人によるインバウンド消費需要が関西の GDP を支えていると考えられます。</p> <p>観光地・宿泊施設を新しく建設することによって、観光客の増加に拍車をかけ、関西経済にポジティブな波及を及ぼすと考えられます。このように、関西に短期的なインバウンド効果ではなく、長期的なインバウンド効果を生み出すために、関西に住む私たちはどのような政策を打ち出すか考えていく必要があります。</p> <p>また、観光業や、宿泊施設も新規の外国人を呼び込むためにどのような形であるのか考えていきます。特に民泊はニュースでも取り上げられたこともあり、注目を集めています。宿泊施設ごとに今後どのようなプラン、戦略を立てるべきなのか提案します。</p>		